

安心・安全



今年度の学校経営 ～安全指導の推進～

校長 小川 貴史



児童が明日も行きたい学校を実現するための手立ての一つに「日常的な安全指導」・「定期的な安全指導」・「特設する安全指導」があります。毎日の朝や帰りの会や、日頃の指導の中で、基本的な事項を身につけさせるために繰り返し一声かける指導を大切にしています。また、学期始めの指導やセーフティ教室・交通安全教室等、取組ごとに「指導の目的」を決め、体験等を通して得た知識を身につけ、日頃の生活に生かすようにしています。今回は新型コロナウイルス感染症拡大により、セーフティ教室後の意見交流会を実施しません。この配付資料を通して、本校の取組について、学校・地域・家庭が共有していきたいと思ひます。

「言葉が、人を助ける～良さをみつけて“ありがとう”～」 生活指導主任 水野太喜



人が口にする言葉には、とても大きな力があります。しかし、時に、言葉は人を傷つけたり、逆に助けたりする不思議なものです。年度当初に保護者会でお願いしましたSNS貝取ルールに関するご家庭での話し合い、学校での委員会活動での取組、どれも、「みんなで、よりよい環境を作っていこう」という取組の一環です。そして、毎日の学校生活は、登下校を含む安心・安全な生活があって、初めて成立します。この資料を通し、貝取小学校の実態を踏まえた、「組織的」「機動的」な取組についてご理解いただきたいと思ひます。

交通安全指導



4月当初の全校朝会、そして1年1組・みどり学級低学年の学級で、多摩中央警察署貝取北駐在所の警察官に來校いただき、「横断歩道の渡り方」「自転車の正しい乗り方」等についてお話いただきました。

1年生の登下校指導



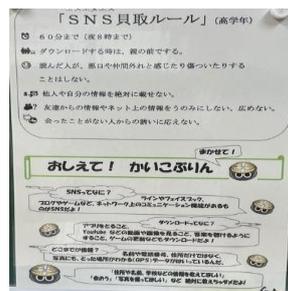
一人一人の1年生が安全に下校できるよう、担任等は毎日複数で歩く時の注意点・傘をさして歩く時の注意点等を実践指導しています。登校時も用務主事等が各門や学校付近を見回り、登校途中にこまっている児童がないか、確認しています。

地域パトロール



放課後の地域での遊び方・友達との関わり方など、生活指導主任が中心となり定期的に見回りしています。また、強風や大雨等の後に、校長・副校長が中心となり、通学路上に危険箇所が無いかを確認し、必要に応じて市に連絡します。

SNSの適切な使用について



各学年・学級では、年度当初の学級活動等で、発達段階に応じた、SNS貝取ルールについて、子どもたちが疑問に思うSNSに関する対処法について指導しました。年間を通し、よりよい行動を考えさせる学習活動を継続します。



毎日のきめ細かな取組も大切にしています。

特別活動（委員会活動）における、児童の取組

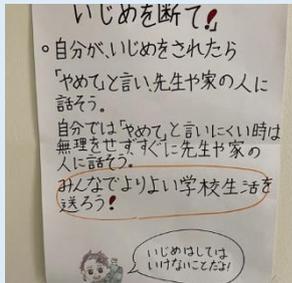
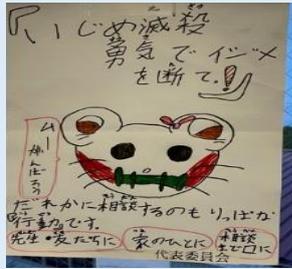


5月に実施した、委員会活動の全校紹介。代表委員会の6年生の児童は、「貝取小学校をよりよくしていくために取り組んでいきたい。その一つに、『いじめ防止のために、何が自分たちができるかを考え、発信・行動していきたい』と発表しました。「今何が課題で、何をどう取り組んでいくべきか」を自分たちで考え、自分の言葉で発信していく姿、大変立派でした。

校舎内には、代表委員会をはじめ、児童手作りのポスターがたくさん貼られています。

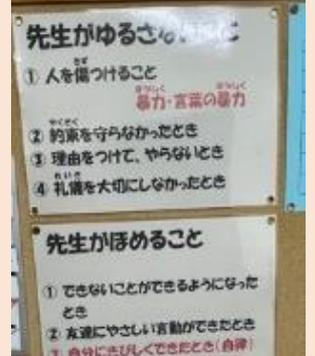
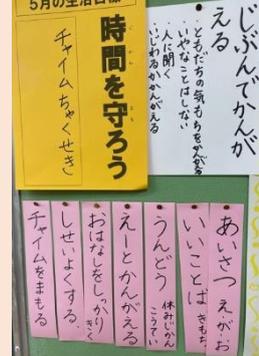
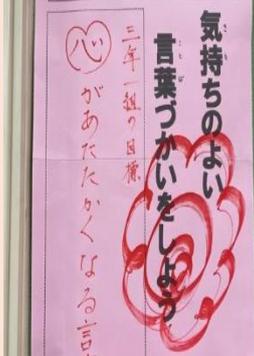
例えば「校舎内で事故が生じないように、廊下をどのように歩くとよいか」。例えば、「新型コロナウイルス感染症対策のため、手洗い・うがいをどのようにすべきか、いつすべきか」。そして、例えば、「いじめ防止・早期対応」のために向けたメッセージ。

どれも一人一人の児童が「何を伝え、どう伝え、低学年でもわかるようにどのようなイラスト等を用いるか」を考えて作成した力作です。



日頃の学級経営

各学級担任は、日頃の学級経営の中で、思いやりの心を育んだり、新型コロナウイルス感染症予防に対する指導を行ったり、様々な制約の中、少しでも自己肯定感を育み、相互に啓発できるような取組を模索し、指導をしています。



貝取小のこれからの取組予定【抜粋】

地震・火災・不審者等、人命に関わる具体的場面を想定した避難訓練を年間通し実施していきます。

多摩中央警察署の方にご協力いただき、学期末・学期始め等には警察官による指導を実施します。

10月にオペラ歌手・劇団を招聘し、健全育成音楽劇を通して指導をします。(都内小学校で4校選出。そのうち本校は1校です。)